当院における麻しん(はしか)対応について

麻しんは、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすことがある感染症です。

麻しん患者と接触した場合は、接触後 7~12 日間の健康観察が必要となります。発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に『麻しんかもしれない』ことを連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診して下さい。

当院の麻しん判明患者について(4月11日から4月26日時点)

患者A	4月11日 麻しんと判明し入院
	4月18日 病状軽快し退院
患者B【職員】	4月21日 麻しん判明
	4月22日入院
	4月25日 病状軽快し退院
患者C	4月22日入院
	4月23日 麻しん判明
患者D	4月22日入院
	4月23日 麻しん判明
患者E【職員】	4月24日麻しん判明 自宅療養
患者F【職員】	4月24日麻しん判明 自宅療養
患者G	4月24日麻しん判明
	4月25日入院

当院における麻しん患者および接触したと思われる方々への対応について

- 1. 麻しん判明者と明確な接触歴のある患者は、名古屋市とともに健康監視をしています。
- 2. 麻しん判明者と明確な接触歴のある職員は、当院が厳重に健康監視をしています。
- 3. 職員への麻しんワクチンの積極的な接種をおこない拡大防止に努めています。
- 4. 麻しんが判明し入院される方へは、周囲へ拡散させない対応をしています。
- 5. 面会者の制限をおこなっております。

市内における麻しん (はしか) の発生状況

 $\underline{\text{http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/8-4-3-9-0-0-0-0-0-0.html}}$

麻しん確定者の情報

http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/mashin-kishahappyou2.html

麻しんについて

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html